

国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？ —中国・台湾・日本を結ぶ遠隔中国語教育を例に—



砂岡和子（早稲田大学）

於東京外国語大学 2017年7月16日



目次

- 1. 大学の世界化と国際連携
- 2. 国際遠隔授業「アジア学生討論」紹介
 - 2.1 授業概要、2.2 組織運営、2.3 授業の特色
 - (教育資源の国際共有、学生主体の授業運営、
 - 複文化・複言語主義、討論テーマ)
- 3. **国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？**
 - 3.1 国際連携による授業の利点 (学習方略の可視化、L2学習資源の充実、学習資源アクセスの多元化、ステレオタイプの見直し、教員の成長)
- 4. **国際連携による授業の課題**
 - 4.1 物理的接続障害の影響、4.2 初中級用教育プログラムではない、4.3 指導方法の未確立

1.大学の世界化と国際連携

- 日本が国際社会の諸活動に積極的に参与し始めた1980年代以降、ことに21世紀に入り、教育分野での国際連携が増加
- 国際連携の形態：研究者同士の個人的ネットワークを通じた共同研究に始まり、近年は大学間協定による交換留学や国際プロジェクト推進へと制度化へと発展。
 - 例 2014年文科省「スーパーグローバル大学創成支援事業」
- 「大学の世界化」はサイバー空間へ広がり、MOOCのような講座連携へと拡大中

1.大学の世界化と国際連携

- 国際連携の重要性は認知度向上
- 平素の授業カリキュラム導入事例少ない。
- 「アジア学生討論 (Asian Students' Conference) 」
- 2001年から16年間**授業科目として継続**
- 北京大学などアジア各地の大学をテレビ会議システムで結び、**華人コミュニティーと共同で学生同士の遠隔対面討論授業を組織**。
- 2016年現在、早稲田大学東京と北九州分校、北京大学、台湾師範大学、慶應大学がほぼ毎週ビデオ会議を開催。

「Asian Students' Conference」



2014年10月23日議題「谈恋爱」(中国語)早稲田大学側



慶応大学

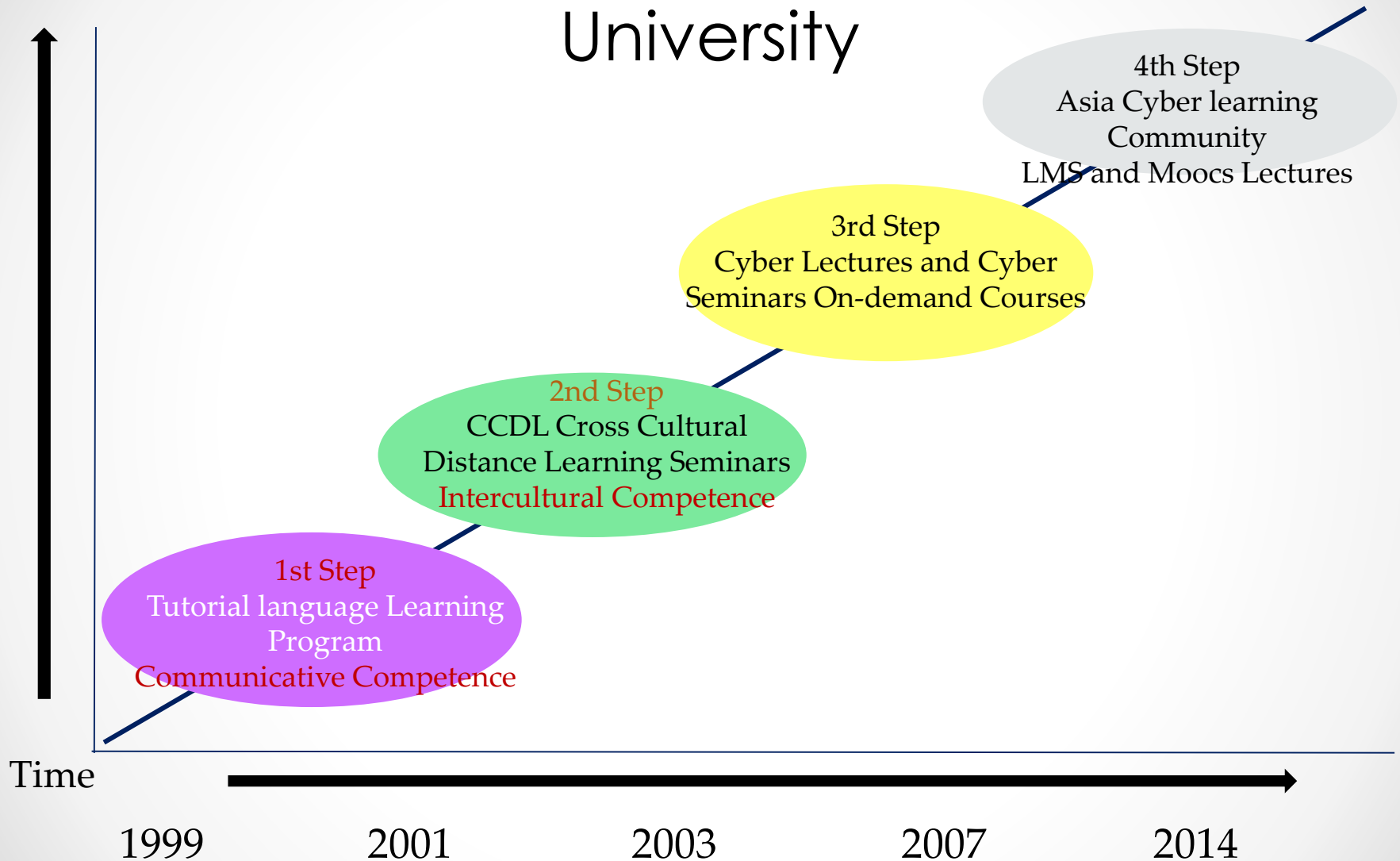
北京大学

台湾淡江大学

2. 国際遠隔授業「アジア学生討論」紹介

- 2.1 授業概要

Digital Campus Vision of Waseda University



Tutorial Chinese

language Learning Program (初級対面-上級遠隔)

科目一覧

| | | | | |
|--------------------------|-----------------------------------|------|----|--------|
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 準中級 11 | 2015 | 秋期 | 月3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中上級 08 | 2015 | 秋期 | 月3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 初中級 11 | 2015 | 秋期 | 月4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中級 10 | 2015 | 秋期 | 月4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 準上級 07 | 2015 | 秋期 | 月4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 初中級 12 | 2015 | 秋期 | 月5時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中級 11 | 2015 | 秋期 | 月5時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 準中級 12 | 2015 | 秋期 | 火3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中上級 09 | 2015 | 秋期 | 火3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 準上級 08 | 2015 | 秋期 | 火3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 初中級 13 | 2015 | 秋期 | 火4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中級 12 | 2015 | 秋期 | 火4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 準中級 13 | 2015 | 秋期 | 火5時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 初中級 14 | 2015 | 秋期 | 水3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 準中級 14 | 2015 | 秋期 | 水3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中上級 10 | 2015 | 秋期 | 水3時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 準中級 15 | 2015 | 秋期 | 水4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中級 13 | 2015 | 秋期 | 水4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中上級 11 | 2015 | 秋期 | 水4時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 初中級 15 | 2015 | 秋期 | 水5時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 中級 14 | 2015 | 秋期 | 水5時限 |
| <input type="checkbox"/> | チュートリアル中国語 初中級 16 | 2015 | 秋期 | 8 木3時限 |

Chinese Cyber Lectures and Cyber Seminars 《中国の社会》

| |
|---|
| 开课日期；2015年9/30-2015年1/27日。 |
| 开课时间；每周三第二节课（日本時間10:40-12:10） |
| 讲课目的；通过专家用中文讲课，多了解中国社会的面面观的同时，提高中文水平。 |
| 上课对象；已修两年以上汉语的日本本科生以及中国留学生。 |
| 招生人数；34名（电脑室的座位数量）◎用远程电视会议上课（北京・上海・台北事務所） |
| 上课语言；中文（特殊情况下可用英日文） |

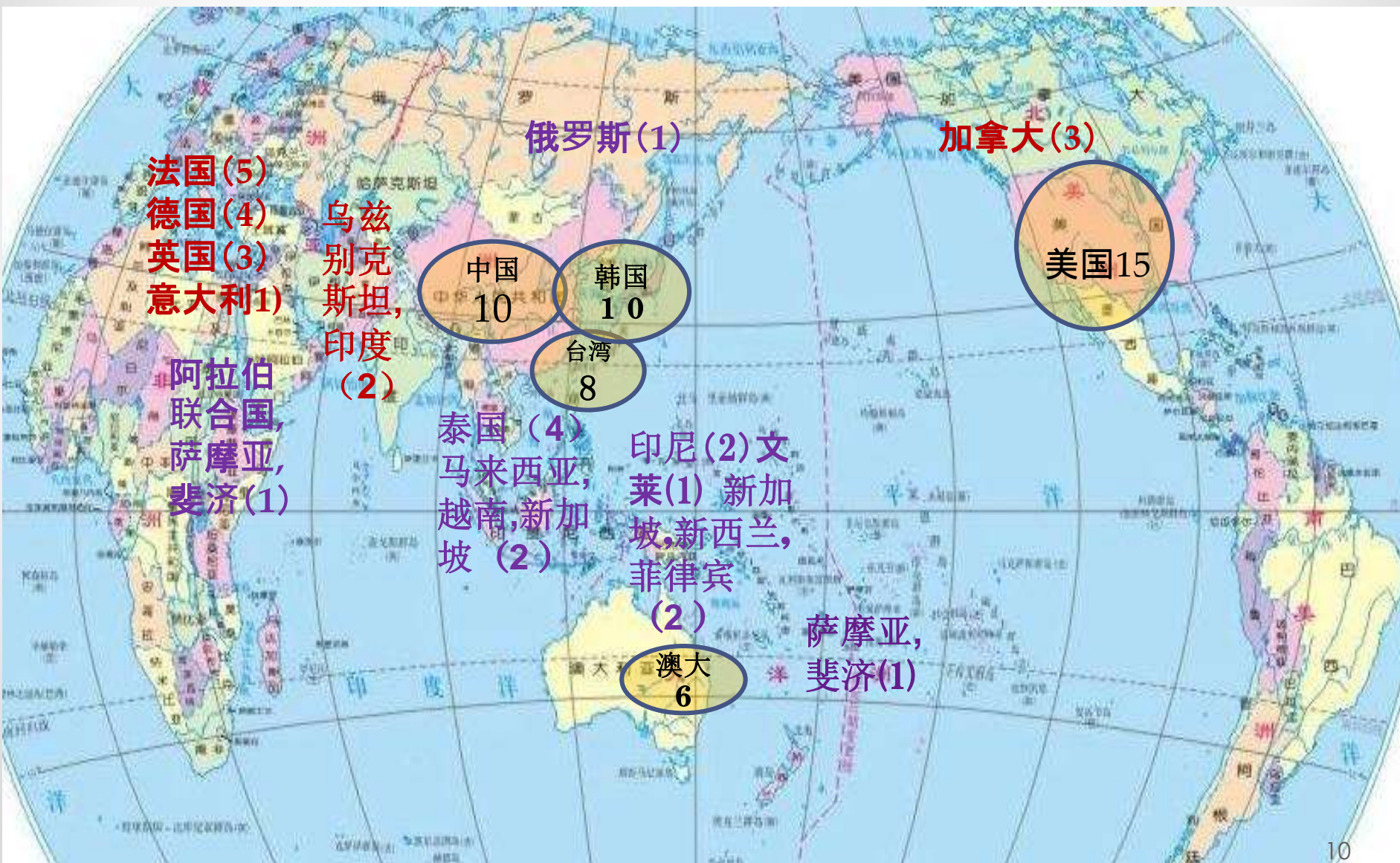
3号館-202（多媒体新教室）<http://web.waseda.jp/ches/wp-content/uploads/2014/08/floormap1.jpg>

| 日期 | 講師 | 講師职称 | 讲课题目 | 分类 |
|-------|------|--------------------|----------------------------|------|
| [第1回] | 砂岡和子 | 本校政治経済学部教授 | 课程说明 | 辅导 |
| [第2回] | 文元春 | 本校法学部助教 | 中国侵权责任法的创新与存在的问题 | 法律 |
| [第3回] | 星野真 | 本校政治経済学部助教 | 中国的收入分配 | 经济 |
| [第4回] | 飯山知保 | 本校非常勤講師 | 最近歴史学研究中的“民族認同”問題 | 歴史文化 |
| [第5回] | 陳玉璽 | 本学国教学術院準教授 | 横浜中華街の变遷 | 国際文化 |
| | | 本校北京办公所所长 | 中国的农业环境问题 | 自然環境 |
| | | 本校北九州大学院助教 | 中国的科技 | 科技 |
| | | 文学学術院講師 | 作為社會產物的當代通俗小説 瓊瑤作品與中台兩岸 | 文学 |
| | | 北京大学教授 | 中国环境与发展挑战及媒体作用 | 環境經濟 |
| | | NHK 解説委員・政治記者 | 日本媒体如何報道中国 | 国際報道 |
| | | 日台交流協会書記官 | 外交官的工作 | 外交 |
| | | 台灣國立清華大學社會學 研究所 | 大選後的台灣社會走向分析 | 政治 |
| | | 北京大学阿拉伯語文化系 準教授 | 中国与伊斯兰世界 | 宗教 |

北京大学との遠隔講義



早稻田大学CCDL交流校（英中ドイツ語日本語等 2011年時点）



CCDL - Cross-Cultural Distance Learning

2005年度参加大学抜粋(45校;赤字は中国語による交流校)
英語・中国語・ロシア語・日本語・ドイツ語・韓国語・フランス語

高麗大学 (韓国)

江原国立大学 (韓国)

デ・ラ・サール大学 (フィリピン)

マラヤ大学 (マレーシア)

シンガポール国立大学 (シンガポール)

SEAMEO RELC (シンガポール)

ハワイ大学マノア校 (アメリカ)

タマサート大学 (タイ)

首都師範大学 (中国)

バプティスト大学 (香港)

台湾師範大学、淡江大学、元智大学

ブルネイ大学 (ブルネイ)

リヨン大学 (フランス)

オークランド大学 (ニュージーランド)

ノッティンガムトレント大学 (イギリス)

エジンバラ大学 (イギリス)

エセックス大学 (イギリス)

ユタ大学 (アメリカ)

コロラド大学 (アメリカ)

シラキュース大学 (アメリカ)

ハワイ大学ヒロ校 (アメリカ)

極東大学 (ロシア)

北京大学 (中国)、清華大学(中国)

国際交流基金 (オーストラリア)

モナッシュ大学 (オーストラリア)

ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア)

キール大学 (ドイツ)

ザイド大学 (UAE)

「アジア学生討論」交流校

CCDL亚洲学生会议参加学校



高麗大学



北京大学、清華大学



台湾師範大学/淡江大学



早稲田大学東京



北九州分校



慶応大学SFC

2. 国際遠隔授業「アジア学生討論」紹介

- 2.2 組織運営



大学とICT企業によるCCDL支援

早稲田大学 大学総合研究センター

教育方法研究開発部門(CTLT)

HOME > 教育方法研究開発部門(CTLT) > -CTLT Classroom 1/2/3

-CTLT Classroom 1/2/3

◆目的
 本学のめざす「対話型、問題発見・解決型授業への移行」を推進するための教室です。
 「ICTを活用した教育手法の研究開発と普及」ならびに「新たな教育手法の研究と実践」に
 寄与することを目的としています。授業利用がない時間帯は、「教育」に関するセミナー
 や説明会等の利用も可能です。

◆ICT機器の特徴
 常駐するスタッフが必要に応じてサポート致します。
 クリックすると本学のサービスナビの該当ページにリンクします。

wivia: 各目のPCやタブレットのデータをスクリーンに投影することができます。

ビデオ会議システム: 遠隔交流授業を実施することができます。(事前申し込み必要)

電子黒板: 電子ペンをを使って授業を収録することができます。(事前申し込み必要)

◆施設・AV機器
 ・CTLT Classroom 1 (40名定員)
 ・CTLT Classroom 2 (60名定員)
 ・CTLT Classroom 3 (60名定員)

大学遠隔交流支援

授業収録スケジュール登録申請

ステータス
 * 必須項目です。

登録申請

2015年10月 2015年11月 2015年12月

日付
 日付指定
 曜日指定

収録日数: 0日

時間
 2時間 10:40 ~ 12:10 10:40 ~ 12:10

担当教員
 担当教員氏名: 0000216526 杉岡 翔子

年度
 2015年度

科目名
 アジア学生ネットワーク (実践)

教室
 早稲田キャンパス
 5号館
 2階
 201教室
 202教室
 203教室
 3階

授業自動録画申請システム

大学LMSによる教学管理

| | 表示順更新 | お気に入り | 開講中 | 開講前 | 期間終了 | 検索 |
|--------------------------|-------|-------|-----|-----|------|----|
| <input type="checkbox"/> | 1 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 2 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 3 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 4 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 5 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 6 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 7 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 8 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 9 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 10 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 11 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 12 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 13 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 14 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 15 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 16 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 17 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 18 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 19 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 20 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 21 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 22 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 23 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 24 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 25 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 26 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 27 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 28 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 29 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 30 | | | | | |

担当教員名:砂岡 和子 開講期間:2016/04/01 00:00~2016/09/20 23:59 総履修者数:6
全選択 全解除 シラバス参照
表示順更新

実行する操作の

学生授業アンケート 砂岡 和子 回答

開講時の伝達事項(2016年) 砂岡 和子 利用

説明

コンピュータでの中国語学習と支援情報 砂岡 和子

CourseN@v Chat 非表示トラブルの対策 砂岡 和子

中国語声調聴取サイト利用手順 砂岡 和子

講義概要

601室中国語読み上げソフトの利用法 砂岡 和子

説明

2016年4月14日(关于国际结婚) 砂岡 和子 講義

添付ファイル

2016年4月14日 再生時間:00:47:53 砂岡 和子

2016年4月21日(早餐) 砂岡 和子 講義

シラバス、課題、学生レポート提出とフィードバック、小テスト&アンケート自動作成・採点、ChatRoom, BBS, Ondemando配信機能等

LMS「Asian Students'Conference」科目

2.3「アジア学生討論」授業の特色

- 教育資源の国際共有
- 授業目標：Intercultural Competenceの練磨
- 受講対象：中国語中上級者（CEFR B1以上）
- 大学語学授業はテキスト中心
- CFL(Chinese as Foreign Language)
- JFL (Japanese as Foreign Language)
- 目標言語で母語話者とコミュニケーションを取る機会が少ない。
- ビデオ会議で母語環境の教育資源を共有
- 自国教室で海外留学に準じた授業に参加
- 実践的語学運用能力を高める

2.3「アジア学生討論」授業の特色

- 学生主体の授業運営
- 討論テーマ選定、司会
- 会議運営の一部を学生に委ね
- 教員・スタッフ・学習者が協同で授業運営
- 毎週約90分、一学期10回前後の対話積み重ね
- 徐々にネット空間に分散するクラスの信頼関係醸成
- リラックスした雰囲気の中で学習者の内発的な学習意欲と発言が増えてゆく

「Asian Students' Conference」



2009年12月10日 「クリスマス」 (日本語) 早大側



2012年12月20日 「旅遊經驗分享」 (中国語)早大側



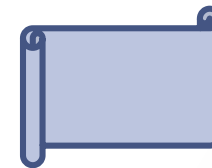
2012年12月13日 「学生による学校運営」 (日本語)
上 北京大学,下左から台湾淡江大学慶応大学,早稲田大学



2014年11月13日 「外国語学習」
(日本語) 早大他6校

2.3「アジア学生討論」授業の特色

- 複文化・複言語主義
- 大学成員のDiversity加速
- 「アジア学生討論」受講生も華人圏中心に多国籍
- CEFR (Pluriculturlism、Plurilingualism)理念
- 討論言語は中国語、日本語、英語など
- 成員が理解できる言語であればいずれも可
- 学生間で自主的に相互通訳支援
- video
- 母語話者の常用字体尊重
- 台湾・香港の繁体字、中国の簡体字を併用



2.3「アジア学生討論」授業の特色

● 討論テーマ抜粋

| | 開催日 | 討論テーマ (討論言語) | 参加校 ◎は司会校 |
|-----|-------------|---------------------------|---------------------------------|
| 1 | 2001年6月8日 | 男尊女卑 (中国語) | 台湾師範大学, 早稲田大学 |
| 8 | 2002年10月23日 | 家族 (中国語) | 北京大学, 慶應大学, 早稲田大学 |
| 13 | 2003年5月21日 | 校則・制服の是非 (中国語) | 台湾師範大学, 高麗大学, 北京大学, 慶應大学, 早稲田大学 |
| 21 | 2004年1月14日 | 男女間の友情・同居 (中国語) | 北京大学, 高麗大学, 慶應大学, 早稲田大学 |
| 32 | 2005年1月13日 | 学生の旅行 (中国語) | 北京大学, 慶應大学, 台湾師範大学, 高麗大学, 早稲田大学 |
| 55 | 2006年6月23日 | 死刑制度の是非 (日本語) | 北京大学, 清華大学, 台湾師範大学, 慶應大学, 早稲田大学 |
| 68 | 2007年4月26日 | インターネット事情 (日本語) | 北京大学, 早稲田大学 |
| 92 | 2008年6月5日 | 四川省地震支援 (中国語) | 北京大学, 早稲田大学, 慶應大学 |
| 94 | 2008年6月26日 | 北京奥运 (北京オリンピック) (中国語) | 北京大学, 早稲田大学, 慶應大学 |
| 103 | 2009年5月22日 | 住居する都市環境が自己形成に与える影響 (日本語) | 北京大学, 台湾淡江大学, 慶應大学, 早稲田大学 |
| 111 | 2010年1月7日 | 有钱人家的子女就能受到良好的教育吗? (中国語) | 台湾淡江大学, 慶應大学, 早稲田大学 |

2.3「アジア学生討論」授業の特色

・ 討論テーマ抜粋

| | | | |
|-----|-------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 124 | 2011年5月12日 | 四川大地震3周年と311東関東大震災 (日本語・中国語) | 台湾淡江大学, 北京大学, ◎早稲田大学 |
| 149 | 2012年11月8日 | 現代社會的戀愛觀・結婚觀 (中国語) | 北京大学, ◎台湾淡江大学, 慶応大学, 早稲田大学 |
| 170 | 2013年12月12日 | 金錢感覺 (中国語) | 台湾淡江大学, 慶応大学, ◎早稲田大学 |
| 176 | 2014年6月5日 | 大气污染 (中国語) | ◎北京大学, 台湾淡江大学, 早稲田大学 |
| 211 | 2015年12月10日 | 传统词汇和emoji (日中英文) | 台湾師範大学, 慶応大学, 早稲田大学 (東京+◎北九州) 北京大学 |
| 212 | 2015年12月17日 | 婚前同居 (日中文) | 台湾師範大学, ◎慶応大学, 早稲田大学 (東京+北九州) 北京大学 |
| 217 | 2016年5月19日 | 養寵物的經驗 (中文) | ◎台湾師範大学, 早稲田大学 (東京+北九州) 北京大学 |
| 222 | 2016年6月23日 | 飲食文化 (中文) | 早稲田大学 (東京+北九州) ◎北京大学 |
| 230 | 2016年12月1日 | 关于脏器移植 (中文) | 早稲田大学 (東京), ◎慶応大学 |
| 232 | 2016年12月15日 | 我喜歡的漫畫類型 (中文) | ◎台湾師範大学, 早稲田大学 (東京), 慶応大学 |
| 233 | 2016年12月22日 | 過年 (中日文) | 台湾師範大学, 早稲田大学 (◎東京+北九州) |
| 234 | 2017年1月19日 | 百年建設規劃 (日中英文) | 台湾師範大学, 慶応大学, 早稲田大学 (東京+◎北九州), 北京大学 |

3. 国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？


- 3.1 国際連携による**授業の利点**
- 平素クラス授業が国境を跨ぎ外に開く
- 異なる教育環境、教育理念の日常的接触
- **相違の顕在化で新たな発見と自省**
- 中国・台湾 Skills-Based VS 日本 “ゆるすぎ”
- 近年、**学習者の自律性 (Learner autonomy) を活かしたアクティブ・ラーニング (Active Learning) の広がり**
- 教育効果実証には総合的・長期間の観察必要

3. 国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？

• 3.1.1 学習方略の可視化

- スクリーンを介し、教室内外風景、参加者の表情や動作、支援スタッフの対応など、映像と音声で可視化
- Spontaneous language特有の表現（ゼスチャー、笑い、感嘆詞、確認、言いなおし、時間稼ぎのフィラー、沈黙、照れ隠し等）
- ネイティブ話者との自然な言語コミュニケーションのなかで、異文化・学習方略を目で見て学ぶことができる
- 言語研究者にとっては分析素材の宝庫

3. 国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？

- 3.1.2 L2学習資源の充実
- 各機関の教育資源をシェア
- 目標とする言語に浸りきった状態での言語獲得を目指す (Immersion program) や、内容言語統合学習CLIL (Content and Language Integrated Learning)に近い第二言語習得環境を創出
- 例：現地最新情報を入手 video 
- 地元の品物や、事象をスクリーン越しに提示
- 各接続地点の非母語話者に刺激を受け、外国語マスターの意欲向上。
- サイバー学習空間に分散する成員をいかに魅力的で刺激ある国際共同学修の場にまとめ上げてゆくか
- 教員・スタッフ・学習者の力量試される

3. 国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？

- 3.1.3 学習資源 **アクセスの多元化**
- 学生間 **インタラクション活性化**
- PBL (**Problem Based Learning**) **支援**
- 教室での **スマートフォンや辞書アプリの使用自由**
- 学生 **携帯端末で画像や統計データを海外校と即座に共有**
- **動画や絵文字などシンボリックな情報も利用**
- **LINEやWeChatによる意見交換**
- **アクセス性良いSNSで率直な意見投稿増加**
- **学修者がネット上で自由に繋がり新しい知を創造**

授業中、携帯端末からemoji情報交換

- **早大男生**：我很喜欢北九州早稻田的同学给我们介绍的那个笑哭的emoji。我觉得那个emoji很有用。我想表达我失败的时候，或者我有错的时候，我可能用那个表情，我觉得那个很有用。（中略）我觉得微信有比较讽刺的emoji，Line有比较可爱的emoji（**北大女生推发贴图，然后主持人告诉大家参看**）。emoji给我带了很多乐趣，看emoji很开心，所以我们经常用emoji。就这样，谢谢！（**大家陆续推发大量的动图片**）。
- **早大北九州校男生**：
糊的感情，起到活跃聊天气氛
赖emoji的话，会降低我们自
也知道有些朋友，他们在微信
现他并没有通过工具聊天这么
表达能力的缺陷，但是对于一
所以我觉得emoji用时可以经
可以提升的部分。谢谢。
- **早大北九州校男生**： So I thi
it is a easy way to express y
of time when you try to writ
about, you can just chose a
communication with my frien
a intension to keep this conversauon going , but i think if you use emoji too many times it
can change the way we are seen by other people, some of the people may even lose respect
to what you said.
- 2015年12月10日 “传统语言与颜文字（emoji）” 早稻田大学东京/, ©北九州校, 北京大学。
台湾师范大学

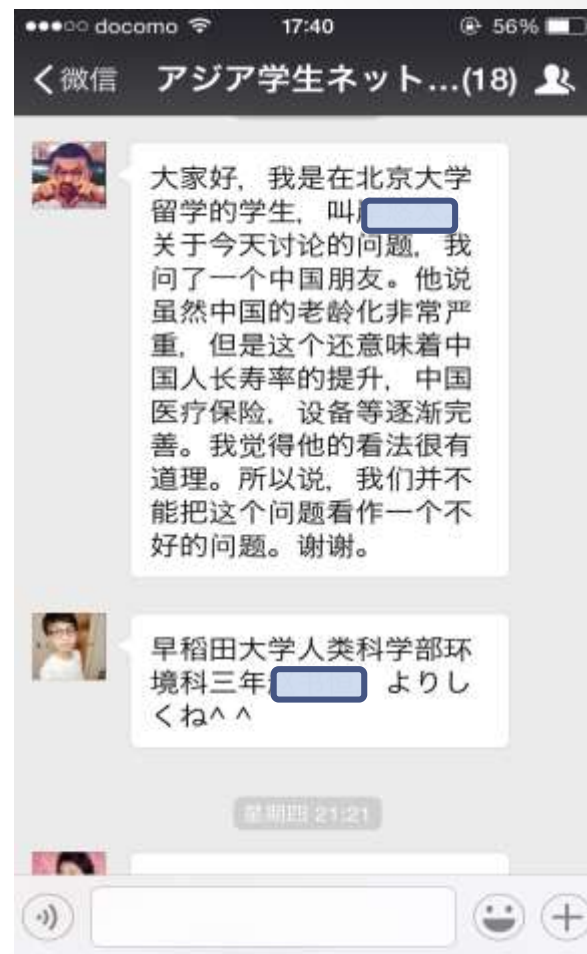
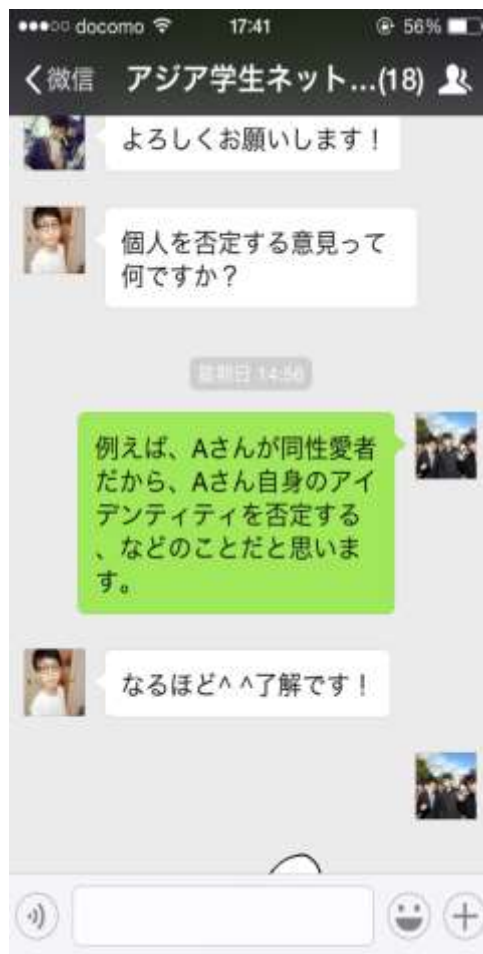
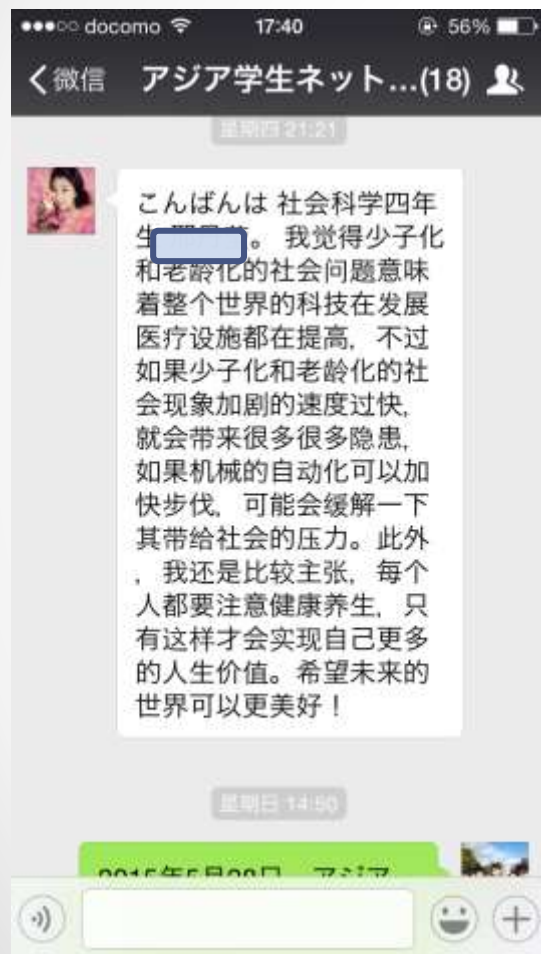


可以表达一种比较模
我觉得如果太过于依
能力。相信大家应该
实聊天的时候却发
了他很大一部分语言
言表达能力的不足，
能力方面有没有什么

video

those days is that
also can save a lot
t you are thinking
changed my
friendly and I have

課外でのSNS交流



3. 国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？

- 3.1.4 **ステレオタイプの見直し**
- 異文化は暗黙知であることが多い
- ことばの定義の違いや政治的に敏感な問題で討論がギクシャクすることも
- 個人的発言がそれぞれの集団を代表するかのような誤解も生じがち
- **異文化と対峙し自文化との関係性を見つめ直すプロセスが大切**
- **国際連携授業はステレオタイプ見直しの場**
- **「幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断ができる」グローバル人材育成に寄与**

3. 国際連携で外国語授業のどこが変わるのか？

- 3.1.5 **教員の成長**
- 国際連携授業の組織と実施、担当教員同士がパートナーとして協力、利害関係を調整しつつ目標達成する**コーディネータ力を鍛える**
- 参加学生への**ファシリテーター役**
- 相手の気持ちを思いやり、リーダーシップを発揮し、
- 誠実に任務を果たすようアドバイス
- 日本はクラスや機関を越えた教学連携不足
- 国際連携は**教育リソース共有過程**で（Articulation）を**促進**
- 教員や機関同士が**共に学び合う**ことで、**指導の改善や意欲の向上に繋がり、教員の成長を促す。**

4. 国際連携による授業の課題

- 4.1 **物理的接続障害の影響**
- 遠隔交流時の通信トラブル
- 音声や画像送信のタイムラグ（ミリコンマ秒単位）、画像や音声の質の劣化の影響
- スムーズな討論進行のための**ルール作り**
- 接続支援サポートの**ノウハウ蓄積**
- 技術部門と教員の膨大なエネルギー必要
- **高い教育コスト**
- 負担を差し引いても遠隔交流のメリットが大きい場合、長期に定期的な実施が望める。

4. 国際連携による授業の課題

- 4.2 初中級用教育プログラムではない
- 日本の教育機関はCEFRのBレベル以上の中上級者が少ない。
- 高等学校3年生の英語力、「話すこと」「書くこと」の得点CEFRのA1レベルに集中。
- 大学中国語履修者の7割以上が初習者、大半がCEFRのA1レベルで学習を終える。
- 北京・台湾の日本語L2学習者はBレベル以上、母語による会議に消極的
- 相互の参加メリットが満たされないと国際連携破局
- 日本各校在学留学生やInternational Studentの参加増大
- 彼らは複数の外国語と情報収集能力、異文化包容力が高い
- 日本人学生の基礎力底上げによる中上級学習者の育成急務
- 高度な実践の場の提供で全体の語学力の底上げに繋がる。

4 .国際連携による授業の課題

- 4.3 **指導方法の未確立**
- 語学演習？異文化間教育？国際人材開発？
- 授業科目としての位置づけ不明確
- **進捗指標、教育法、成績評価** (Assessment) 未確立
- **テキスト編集の難しさ**
- 教育スキームの再構築必要

